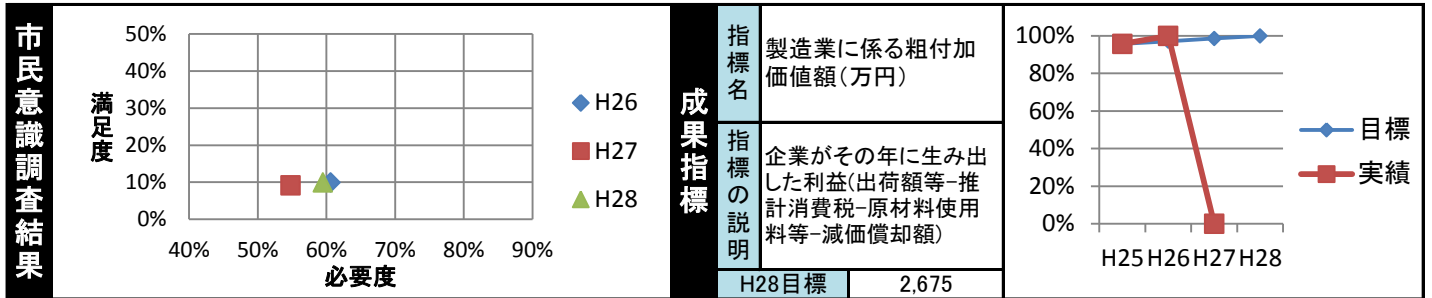


政策名等	コード	名称	担当部署	コード	名称	連絡先
	34	地域性を活かしたモノづくりと新たなサービス創出が活発なまちづくり		160500	産業振興部商工労働課	0595-22-9669
施策	3401	地域産業の高付加価値化	評価責任者・役職名	産業振興部 部長 尾登 誠		
基本情報	再生の視点(何を、どうする)	<ul style="list-style-type: none"> 高付加価値型産業の形成をめざし、イノベーション創出に向けた研究開発機能の集積を促進します。 商工関係団体や金融機関、大学と連携し、高付加価値なモノづくりや新たなサービスの創出につながるしくみづくりを進めます。 事業者等の知恵とやる気を活かし、地域の「強み」となり得る地域産業資源を活用した、新商品・新サービスの開発・販売等の事業展開を推進します。 				
	施策の方向	知恵やノウハウを結集する産学官民の交流・連携の場を設け、オープンイノベーションを推進し、技術・経営情報・販路等の経営資源の補完につなげるとともに、キーパーソンのつながりによる新しいビジネスの創出や、若手の参加による人材育成など、人材・技術を次世代に継承するネットワークづくりを促進します。さらに地域の強みを活かした新たなサービスの提供やものづくりなどによる事業展開を促し、企業の技術課題等に取り組むため、産学官民連携を活用し、技術の高度化や、新製品・新技術の研究開発を推進します。また、製造業をはじめ卸・小売業、サービス業など幅広い分野の創業への取り組みを支援します。高付加価値型産業への転換等の推進や研究開発型企業の誘致の促進するにあたり、企業ニーズの把握に努めるとともに効果的な支援策の検討を行います。				



改善・取組方向	前年度の取組内容と残された課題	平成26年度 (平成25年度の取組内容と残された課題) 三重大学産学官連携セミナーを通じて、産学官民のネットワークの強化を図りました。今後も施設の利用拡大を目的に周知広報活動を積極的に行います。 また、平成25年度に構築したネットワークを活用し、市内事業者の医療・福祉分野への技術転用による新製品の開発を目指します。	平成27年度 (平成26年度の取組内容と残された課題) 三重大学産学官連携セミナーを通じて、産学官民のネットワークの形成及び強化を図りました。今後も施設の利用拡大を目的に周知広報活動を積極的に行います。 また、平成25年度に構築したネットワークを活用し、市内事業者の医療・福祉分野への技術転用による新製品の開発を促進しました。三重大学の主催により、三重大学産学官連携セミナーを開催し、市内事業者と大学教授の交流による新産業、新商品の開発に向けたマッチングを図りました。 三重県のライフイノベーション事業と連携し、市内事業者の支援を行いました。 平成26年度に行った事業所ニーズ調査及び事業所訪問結果を分析し、新製品の開発における障害の排除又は軽減に係る支援を行いました。	平成28年度 (平成27年度の取組内容と残された課題) 今年度、商工関係団体、金融機関、県、ゆめテクノ伊賀などと連携し、創業支援・第2創業をサポートすることを目的とした『伊賀流創業応援隊』という組織を設立し、創業等の支援を強化しました。 また、地域産業のさらなる活性化を図るべく、商工関係団体、JA、観光協会、三重大学などと連携し『伊賀ブランド推進協議会』を設立し、地域ブランドとして25事業所、35品目を『IGAMONO』として認定し、市内外へのPRを実施しました。しかしながら、認知度はまだ低い状況であり、今後のさらなるPR活動と認定品目の充実が必要です。
	改善ポイントと具体的な取組	三重大学の主催により、三重大学産学官連携セミナーを開催し、市内事業者と大学教授の交流による新産業、新商品の開発に向けたマッチングを図ります。 三重県のライフイノベーション事業と連携し、市内事業者の支援を行います。 平成26年度には市内事業者に向けて、医療・健康・福祉分野の研究、新商品開発のニーズ調査を行います。 また、その結果から市内事業者を訪問し、フォローアップを行い、製品の開発支援を行います。	平成26年度において、県内企業と上野総合市民病院との間で新商品開発にかかる調査が実施されており、平成27年度には、市内企業の参加を促進します。	地域ブランドである『IGAMONO』の充実とPRを強化し、地域産業の活性化と高付加価値化の促進を図ります。

(続紙)

施策 3401

地域産業の高付加価値化

(千円)

No	26 重点	27 重点	28 重点	事務事業名	事業概要	H27	H27	コスト の方向	H28
						予算	決算 見込		予算
01	1	1	1	商工振興経費(01-07-01-02-329-51)	伊賀市の商工業の振興・発展のため、関係機関や商工業者に対し、支援を行う。	54,047	44,653	→	385,832
02	2	2	2	産学官連携研究開発拠点運営経費(01-07-01-02-334-51)	産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」の運営経費を補助する。	20,469	19,984	→	20,311
03			3	商工振興経費(01-07-01-02-329-51)	伊賀ブランド推進事業補助事業(平成26年度補正予算 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業(地方創生先行型))	3,000	3,000	皆減	0
04			3	三重大学伊賀連携フィールド事業(01-02-01-06-121-60)	庁議の開催や職員提案制度の運用、政策課題の調査・研究を行う。	6,000	0	→	3,184
構成事務事業 合計						83,516	67,637		409,327

中間総括	第1次再生計画 期間全体を総括 して	成果指標については、増加傾向であり、順調に推移しています。
	第2次再生計画 (仮称)への課題、 対応について	雇用促進及び市税収入の観点からも、2次計画において、継続すべきものと考えます。